

## 様式第1号

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第1回 所沢市障害者施策推進協議会
開 催 日 時	令和6年6月27日（木）午前10時00分～11時55分
開 催 場 所	所沢市こどもと福祉の未来館 多目的室1号・2号
出 席 者 の 氏 名	雨倉 聡、小川 奈津己、玉津島 滝子、仲 重夫、木村 栄、 粕谷 廣子、中島 亜希子、大島 幸子、古川 弘子、宮本 英 行、荻野 司、熊谷 大、古山 周太郎、小澤 温、菊池 芳久、 小野寺 祐樹、吉澤 久雄、坪井 弘直 以上18名
欠 席 者 の 氏 名	久保田 さおり、齊藤 秀行
議 事	(1) 第5次所沢市障害者支援計画の進捗について (2) その他
会 議 資 料	1. 会議次第 2. 所沢市障害者施策推進協議会委員名簿 3. 第5次所沢市障害者支援計画進捗状況（資料1） 4. 第5次所沢市障害者支援計画各施策の目標値及び実績値一 覧（資料2） 5. 第5次所沢市障害者支援計画へのご意見と回答（資料3）
担 当 部 課 名	福祉部 前田部長 障害福祉課 一色課長、吉里副主幹、岩崎主査、宇貫主査、 藤原主査、加藤慶主査、森川主任、加藤陽主任 こども福祉課 加賀谷課長、宮武主査 健康管理課 田中課長、小野寺主幹、千葉副主幹 危機管理室 森田参事 小田切主査 (事務局) 福祉部障害福祉課 電話 04-2998-9116

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>開 会</p> <p>昨年度、委員に審議していただいた所沢市の第 6 次障害者支援計画が、令和 6 年 3 月に完成したことの報告とご協力へのお礼申し上げます。</p>
会長	<p>会長の挨拶</p> <p>昨年は、国の計画に合わせて第 6 次所沢市障害者支援計画をまとめた。今年も国の動きを意識して進めていきたい。</p>
事務局	<p>—出席者 18 名—</p> <p>—傍聴者確認（傍聴者 2 名）—</p> <p>配布資料の確認</p> <p>会議については原則公開とし、会議録は要約記述で発言者名は省略、公開は議長承認後とすることを了承</p>
会長	<p>《議事》</p> <p>議題（1）第 5 次所沢市障害者支援計画の進捗状況について事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>—資料 1 を使って進捗状況の説明—</p>
会長	<p>進捗状況の点検が一番大きな業務であるが何かご質問ご意見はあるか。</p>
委員	<p>資料 1 が郵便で届いたときに読みにくいと思った。資料作成の時に読みやすいものを作って欲しい。両面印刷の向きを上下にならないように左右で印刷して欲しい。</p> <p>ホームページに記載することとして、例えば自然環境の狭山湖などに手話通訳を付けたものを発信して欲しい。以前にも話したが 1 年間進捗が無かった。</p>

会長	印刷については事務局のほうで今後気を付けて対応していただければと思います。2件目は事務局、回答ください。
事務局	ご意見として承りました。担当課と共有いたします。
会長	可能な限り努力していただければと思います。
委員	最後の防災防犯体制の整備について。福祉避難所の整備が進んでいる、進めていくということは良いことであるが、一方広域なものになる。遠くまで行かないとサポートを受けられない。福祉避難所を増やすのと平行して、近くの避難所をバリアフリー化するのが重要とされているが、福祉避難所以外の避難所の進展はどうなっているか。
事務局	担当課不在のため進捗状況は把握していないが、問題意識は担当課も共有している。別件で担当課が参加する予定のためその関連の話があるかもしれない。
会長	昨今地震等が多発しており、いつでも起きうる実態となっているため情報提供を速やかに進めてください。
委員	7ページ目の最上段、小中学校の件。昨年度は14名、今年度は40名を予定している。小中学校にご理解とご協力いただいて実施している。今後もインクルーシブ連携していきたい。
委員	事業者の立場として色んな課題が上がった際、事業者として何ができるか、行政は何ができるか、3者が協力していければ具体的な取り組みが進むのではないかと。共有するだけでなく事業者・行政の会議ができたらいいなと思う。
会長	行政だけで進むものではないので、積極的に検討してください。
委員	2ページ目、市内グループホーム404名の定数だが、充足率はどうのようなものか。事業所に繋がっていない障害者のニーズがどのぐらいか。どの程度把握しているか

事務局	<p>事業所と繋がっていない利用者のニーズについては課題と思っている。相談が上がっている方の優先順位が高いが、予防に目を向けていくことも課題と考えている。知的・身体に分け、同じツールを使いながら見守りができるか大きな課題。相談支援部会等で議題として上がっているところである。</p>
会長	<p>定数は増えているとのことだが、適正な数値がどのぐらいかは今後の大きな項目である。国も大きな動きがあり、今年度も社会的な課題を含めて起きているため、適正な在り方、質のあり方等についてたくさん出てくるだろう。検討をせざる得ないこともあるだろう。</p>
委員	<p>全体的なことであるが、進捗評価のところはほとんどⅡの評価になっている。所管課が回答を作成しているものと思われるが、もう少しメリハリをつけていただくと議論がしやすい。市の政策評価の項目ならしやうがないが、10段階にするとか、Ⅲはなかなか付けられないと思うが、ⅡとⅢの間があればいいのでは。</p> <p>資料2の数はメリハリがついて判断しやすいと思うが、目標値と実績値が下回っているものもいくつかある。障害記念事業の来所者数は下回っているとか、手話通訳の利用件数が下回っているなどについて、説明があっても良いのではないか。目標値が高すぎたのか、何か理由があって下回ったのか、目標値の位置づけ等を説明いただきたい。</p>
会長	<p>評価の指数については、ほかの自治体でも同様のため、何かのルールがあるのではないかと思う。資料2についての補足説明、評価について、事務局はいかがか。</p>
事務局	<p>一つ目については、市の基準として厳格なものがあるわけではないが、準用しているイメージである。今回第5次の進捗確認は最後であり、第6次への切替えのタイミングのため、次回に向けて検討をしてみたい。</p> <p>二つ目については、指標が適切であったかが問われる。イベントは日数が分母で、多くの方に見ていただくため平日開催し、分母が大きくなると一日当たりの数は減る。説明ができるような適切な指標を作っていきたい。</p>

<p>会長</p>	<p>評価指標については厚生労働科学研究で関わっているが難しいものである。他の自治体でもほぼ類似のルールで行っていて、行政評価をする視点と福祉現場の視点はずれているし、財務評価の観点もある。評価が立場で異なり非効率とされなくもないし、それでも必要ということもある。事務局とともに考えていきたいと思う。</p> <p>資料2については、一部解説を付してもいいのではないかとと思う。下回っても必ずしもマイナスということではない旨などがあればいいのではないか。</p>
<p>会長</p>	<p>ここで10分間の休憩いたします。</p> <p>&lt;休憩&gt;</p>
<p>会長</p>	<p>議事2に移る前にその他事項で意見等有るか。</p>
<p>委員</p>	<p>6ページ、発達障害、情緒障害に対する教育体制の整備についてだが、小学校2校は把握しているが、中学校に設置されているピースは中央中学校の1校だけとっていた。2校か。</p> <p>小中学校は、義務教育なので発達障害の支援が必要だが、高校大学の支援の場も必要と考えている。埼玉県の委員も務めているが、西武文理大学の方でモデルケースの支援を始めたとのことである。支援の行き届いた高校大学を探している保護者も多いので、年齢に関係なく可能な支援をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>中央中学校の他、山口中学校に設置しています。</p> <p>小中だけでなくその先の支援については、教育福祉の連携、ライフステージを通じた切れ目の無い支援を課題として把握しています。これから進めてまいります。</p>
<p>会長</p>	<p>西武文理大学については、私が関わっているけやきの郷が引き受けている。始まったばかりで分からないが、専門センターとコラボするのは初めてのケースのため情報が取れたら共有したいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>資料3についての報告は何もないのか。会で一生懸命作成したものなのに、何も説明なく紙だけの回答はどうか。</p>

事務局	<p>事前にいただいた質問回答については、なるべく早めにお届けするため資料3として配布したものである。必要な個所は丁寧に回答しますのでご意見ください。</p>
会長	<p>従来資料3については質疑していたが、事前に配布することで質問に対する回答を伝えることが重要と捉え、個別に回答する時間を取り切れないという実務的なところがあったものと思われる。</p>
委員	<p>納得はいかない。パブリックコメント等で説明があったように効果が分からない。各団体でまとめて意見したものへの回答に補足説明が欲しいと思う。回答は質問した団体だけが把握すればよいのではなく、共有してもらうのも大事だと思う。</p>
会長	<p>資料として提出されているもののため、資料を見るという共有の仕方もあるとは思いますが、補足はあるか。</p>
事務局	<p>まとめていただいたことに感謝いたします。全てを時間内に行うことは難しいため、ご指定いただいた項目について補足したいと思う。</p>
委員	<p>たくさんあるので、改めて説明してもらい、皆さんの意見も聞いて、団体に返し、取りまとめて要望を出すという形にしたい。次の会議で何が必要かを確認したい。</p>
会長	<p>本日議論すると時間が足りないため、簡単にどのようなものであったかを説明することでよろしいか。事務局は5分程度で簡単に説明できるか。</p>
事務局	<p>質問5個、意見10個いただいている。9ページあるため、全て取り上げることは難しいがご報告します。 (それぞれの質問について資料3を抜粋して読み上げ)</p>
会長	<p>次回に審議すべき事項の一部として共有したこととします。</p>
会長	<p>所沢市の課題として「親亡き後」を取り上げて意見交換したい。グループホームの問題や成年後見等、資料1にもいくつかこの関係</p>

	<p>が取り上げられている。本日は幅広い意見交換をいただき、次回深掘りをしていきたいと思う。厚生労働省でも同様の問題を取り上げているところである。障害のある方の高齢化もこの問題に含まれるため、議題1の網羅的なものから本件に焦点を当てて実態を共有したいと考えている。いかがでしょうか。</p> <p>とてもいい方向に進めていただき感謝します。</p> <p>親亡き後、普通の親は子どものことを心配しないで自分の老後を考えると思うが、障害を負った場合の親は頭の上に石が乗ったような感じになる。ある時から障害に分類されたときから自分も病気というか鬱状態に親はなってしまう。この感じで成長するのかという諦めと希望を持つ。鏡を見るたびに老いを感じ、子供にも老いを感じ始める。親亡き後ではなく、亡くなる前から真剣にならざるを得ない。楽しい話題もあるし自分より厳しい環境もあると思うが、親としては辛い。最近、精神障害は親が全責任を負うものではないという社会的な状況になってきた。色んな障害について真剣に考えること、それに尽きるのではないか。この委員会が提案し、真剣に議論しようとしてももらえることは感謝しかない。</p> <p>資料3のグループホームの数のことだけというのは問題だろうと思う。「恵」の不正関係で千人単位の障害者が路頭に迷う。グループホームができればいいものではない。質、人間として尊厳が守られているか、市が責任を負うべきである。設置は県だとしても、まともなグループホームが無い責任を誰が負うのか。追い出す時は障害者のせいになったりする。数だけじゃない視点をぜひ持っていただきたい。</p>
委員	
会長	<p>切実な実態を共有することは大事である。どのぐらいの深刻さがあるかを共有しないと。数字だけ見ると拡充されているが社会的には問題も生じている。そういう会社に頼らざるを得ない実態があるということでもある。どのぐらいのことができるかはあるが、ほかの自治体をリードするような所沢市にして欲しいという気持ちがある。ほかにあるか。色んな立場からの意見が参考になる。</p>
副会長	<p>グループホームの話。環境調整ができていない。国リハの中にも施設はあるが、できていない。部屋のを全部取っ払っている。昔の施設のやり方だ。今はそういうやり方をしないで、大人数が苦</p>

	<p>手なら通う時間をずらすとか、そういうことができる専門家が育っていない。</p> <p>基礎的な知識が無いと虐待に繋がってしまう。技量が無いから力で抑え込もうとする。福祉現場の人は技量を上げることが一番大事である。やっている本人にとっても必要なことである。</p> <p>グループホームの数も大事だが、それだけではない。家で過ごせる子供もいる。そういう子も全部機械的に特別支援学校や施設に入れ、選択肢を狭めている。これまでの経緯として、施設に措置入所させることがよろしくないということでグループホームへ移行しつつあるが、グループホームがいわゆる施設化している現状がある。ちゃんとしたグループホームならいいが、そうではないグループホームもあるのが事実である。本人がどうしたいか聞くことも重要である。</p> <p>妻がファミリーサポートをしている。サポートしている家族の子どもの兄が障害者で、弟を殴ってしまう。弟は兄が殴り終わるまで耐えている。母は働いている。一緒にいるとしんどいから。弟は上の子と離すためプールに通っている。いろんな人の力を借りながら過ごしているが母はとても大変である。そういう実感をする。色々なものを活用していくが、障害のお子さんを持つ親が一番つらい。情報提供や手伝えることはすごく大事なことだと思う。知的障害は永遠の3歳児みたいなもので直らないが体は大きく、力も強くなる。だんだん親に手を出すようになる。救ってあげたいと思う。行政もやってくれているが、ボランティアで手助けできることもある。</p>
<p>会長</p>	<p>示唆に富んだ話だった。委員会で情報を共有して根を掘り下げることの一つのあり方である。どうしても施設に頼る必要性、地域生活をどう支えるか、計画の最も重要なバックグラウンドである。</p>
<p>委員</p>	<p>「親亡き後」という言葉自体がおかしいものかもしれない。</p> <p>ある程度の年齢になれば子は自立していくものだが、現実として親がわが子の面倒を見ている。重度の知的障害等を支援しているが、親御は80代、90代が多くなってきている。生活の場が重要だと考える。グループホームの質等問題はあるが、重度の方が生活するためには設備も重要、人、職員の質、しっかりとした支援ができる支援員、医療的ケアには看護師等の配置も必要となってくる。運営面、お金も考えて行く必要がある。事業所、当事者、行政一緒に考</p>



	<p>えていくことが求められている。</p>
会長	<p>時間の都合でいったん次の案件に移りたいが、今のことも含めて意見書の提出をいただけると審議に反映していきたいと思う。</p>
事務局	<p>貴重なお時間をいただきありがとうございます。障害のある方の防災訓練への参加についてご説明させていただきます。</p> <p>災害時には自分の命を守るのが重要であり、自主防災訓練に積極的に参加いただきたい。市では参加しやすい防災訓練の形を作っていきたいと考えており、訓練の参加、実際の避難所への避難等普段から顔・地域とのコミュニティと繋がって欲しい。</p> <p>参加しやすい訓練の実施を検討しており、今後意見を伺う機会を設けたいと考えているため、その際はご協力ください。</p>
会長	<p>本当に災害が発生した際は、訓練の経験の有無で結果が変わってくる。参加すると配慮の必要性も分かると思うため、ぜひよろしくをお願いします。</p>
委員	<p>防災訓練の参加だが、実際バンダナをして参加したが、皆さん何の反応もなく、寂しい気持ちだった。暇を持って余す感じの参加になった。次回参加する意欲が無くなった。ろう者がいることを地域の方に知ってもらうため参加したが、手話通訳の配置もないし、健常者だけで固まる。何かしらの工夫をしていただきたい。</p>
事務局	<p>参加しやすい訓練を目指している。そのためにも検討をしたいと思っている。</p>
会長	<p>協議会の進め方、議題の設定について考えていきたいと考えている。意見書の用紙については進捗についてとなっているが、本日の議題と関連した内容もご意見をお寄せください。</p>
事務局	<p>今年度の2回目の会議日程については改めて連絡します。お疲れさまでした。</p>
	<p>閉 会</p>